

一般国道450号(旭川・紋別自動車道)遠軽上湧別道路に係る新規事業採択時評価

- ・高次医療機関への救急搬送時における速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援
- ・現道の課題箇所を回避し、洪水浸水や暴風雪などの災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築
- ・旭川・紋別自動車道が延伸することで、輸送時の物流効率化や観光時の周遊性向上を支援

1. 事業概要

・起終点:北海道紋別郡遠軽町豊里
 ~北海道紋別郡湧別町南兵村一区

・延長等:13.8km

(第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)

・全体事業費 :約300億円

・計画交通量 :約8,400台/日

乗用車類	小型貨物	普通貨物
約5,300台/日	約900台/日	約2,200台/日

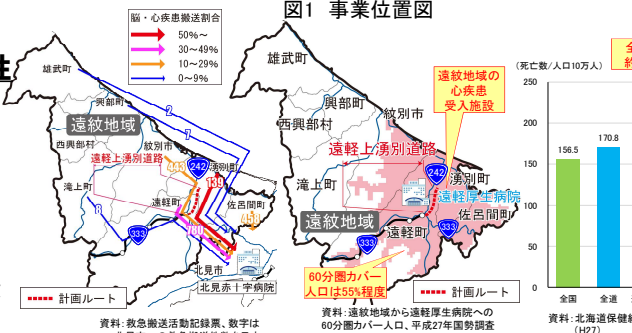


2. 課題

①救急搬送時の速達性、安定性

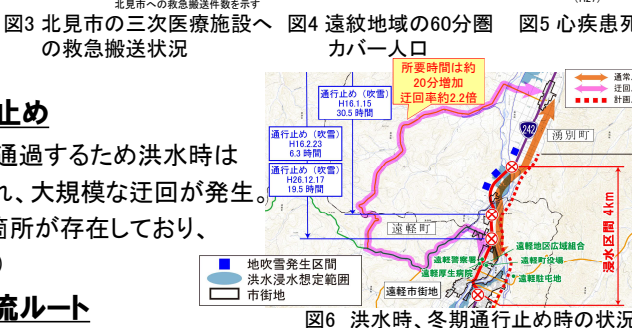
・遠軽地域には高次医療施設がなく北見市の三次医療施設に依存し、救急搬送の際は国道242号において、遠軽町を経由し搬送。(図3)

・また、遠軽厚生病院は遠軽地域で唯一心疾患患者を受け入れ可能な病院であるが、遠軽地域の60分圏カバー人口は55%程度で、死亡率は全国の1.4倍と高い。(図4、5)



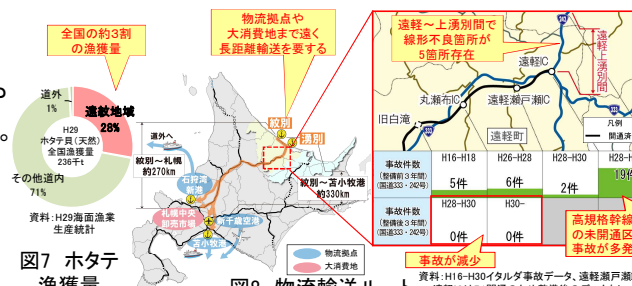
②洪水浸水、暴風雪時の通行止め

・国道242号は洪水浸水想定範囲を通過するため洪水時は遠軽町へのアクセス道路が寸断され、大規模な迂回が発生。また、国道242号には地吹雪発生箇所が存在しており、吹雪による通行止めが発生。(図6)



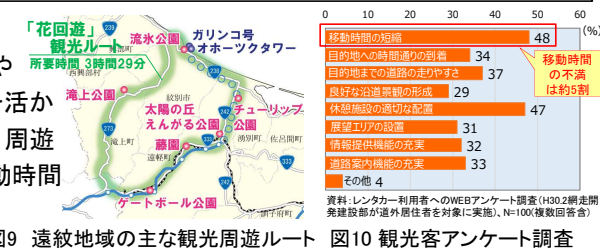
③長距離輸送、事故多発の物流ルート

・遠軽地域はホタテ漁獲量が全国の約3割を占めるなど日本の食を支える生産地であるが、物流拠点や大消費地までの長距離輸送が必要。現在の物流ルートのうち、高規格幹線道路が開通している区間では事故が減少しているが、現道では事故が多発。(図7、図8)



④観光時の周遊性

・遠軽地域は、春から秋の「花回遊」観光や冬の「流水」観光など、年間を通じ自然を活かした魅力的な観光資源が豊富であるが、周遊観光時の移動時間が長く、観光客の移動時間短縮の改善ニーズが高い。(図9、図10)



3. 整備効果

効果1:救急搬送時の速達性、安定性向上による地域の安心できる暮らしの支援 [◎]

- ・高次医療施設を有する北見市、遠軽町への速達性及び安定性向上による、安心できる暮らしの支援。
- 北見市～遠軽町間の所要時間 現況:80分 → 整備後:70分
- 心疾患医療施設の60分圏カバー人口 現況:55% → 整備後:76%

効果2:災害時の道路機能、代替路の確保 [◎]

- ・洪水浸水想定範囲、地吹雪発生箇所回避による国道機能の確保、別線整備による代替路の確保。
- 洪水浸水想定範囲、地吹雪発生箇所の回避 現況:浸水区間4km、地吹雪3箇所 → 整備後:浸水区間0km、地吹雪0箇所
- 代替路の確保 現況:未確保 → 整備後:確保

効果3:安全かつ効率的な物流ルート確保による生産性向上の支援 [◎]

- ・紋別港～苫小牧港等の物流拠点間的高速ネットワークによる効率的な物流ルートを形成。
- ・線形不良区間や信号交差点の回避による長距離輸送ドライバーの負担を軽減。
- 紋別港～苫小牧港間の所要時間 現況:285分 → 整備後:269分
- 物流ルートの安全性向上 現況:線形不良5箇所 → 整備後:線形不良0箇所

効果4:定時性・速達性の確保による、周遊観光の支援 [◎]

- ・遠軽地域における周遊観光時の観光地間の移動時間短縮による、周遊観光の活性化。
- 遠軽～上湧別間の所要時間 現況:28分 → 整備後:12分

費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

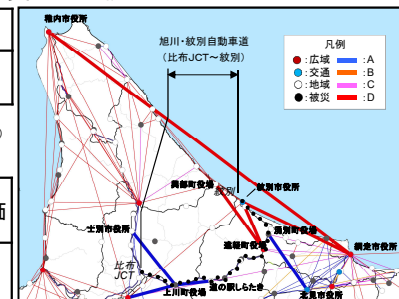
B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.1	4.6%	235億円※2	260億円※2
(1.1)	(4.6%)	(235億円※2)	(260億円※2)

注)上段の値は比布JCT～紋別を対象とした場合、下段()の値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果 ※1: EIRR: 経済的内収益率 ※2: 基準年(R2年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率:4%)

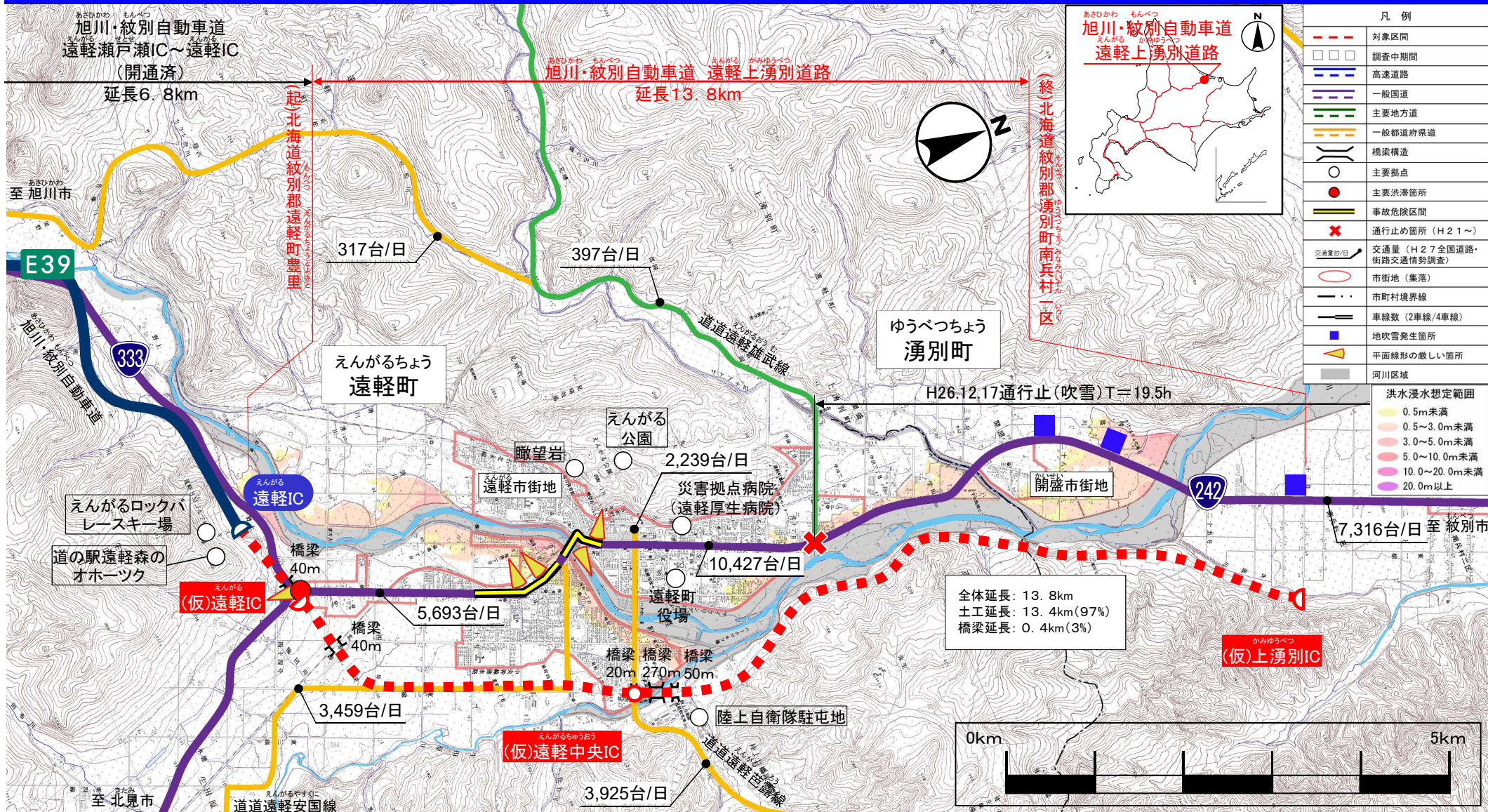
道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
8	0.88 [C]	0.50 [C]	▲10.98	0.13	0.39	◎
(6)	(0.63 [C])	(0.63 [C])	(0.00)	(0.07)	(0.05)	

注)上段の値は旭川・紋別自動車道(比布JCT～紋別)を対象とした場合、下段()の値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果

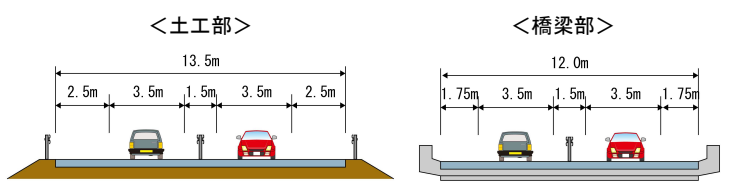


一般国道450号(旭川・紋別自動車道)遠軽上湧別道路に係る新規事業採択時評価



凡例	
---	対象区間
□□□	調査中期間
---	高速道路
---	一般国道
---	主要地方道
---	一般都道府県道
	橋梁構造
○	主要拠点
●	主要渋滞箇所
---	事故危険区間
✕	通行止め箇所(H21～)
交通量台/日	交通量(H27全国道路・街路交通情勢調査)
○	市街地(集落)
---	市町村境界線
---	車線数(2車線/4車線)
■	地吹雪発生箇所
▲	平面線形の厳しい箇所
■	河川区域

標準横断図



計画縦断図

